

令和3年度 全国学力・学習状況調査 結果概要と改善策

令和3年5月27日(木) 第3学年 実施
旭川市立明星中学校

学力調査

△▼全国平均との差

質問紙調査

| | 成果が見られる設問 | 課題が見られる設問 | 課題への主な改善策 |
|---------------------------|--|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える。(△12.8) 書いた文章を読み返し、語句や文字の使い方、段落相互の関係に注意して書く。(△4.1) 文脈における語句の意味を理解する。(△4.5) 事象や行為などを表す多様な語句について理解する。(△6.7) 伝えたいことが相手に伝わるように書く。(△4.0) | <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの話題や方向を捉える。(▼0.5) 書いた文章を相互に読み合い、文章の構成の工夫を考える。(▼1.0) 文章に現れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。(▼3.6) 相手や場に応じて敬語を適切に使う。(▼0.5) | <ul style="list-style-type: none"> 文章読解力だけでなく、条件を踏まえて表現する活動を充実させる。特に、今回、誤答の傾向が見られた「文章を引用して書く」活動を充実させる。 「他者の意見を踏まえて自分の考えを表現する」活動を充実させ、他者の意見に対し、同意できる部分、反対する部分とその理由や根拠を述べるができる生徒を育成する。 敬語など、言葉の知識を要する問題については、使用する場面などを意識させることで定着を図る。 |
| 自校：67 全道：65 全国：64.6 | | | |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面で、一元一次方程式をつくることできる。(△3.4) 扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している。(△6.6) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(△3.6) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(△4.6) 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している。(△8.0) ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる。(△3.7) | <ul style="list-style-type: none"> 整式の加法と減法の計算ができる。(▼9.6) 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。(▼6.4) 相対度数の必要性和意味を理解している。(▼5.5) 与えられたデータから中央値を求めることができる。(▼3.8) | <ul style="list-style-type: none"> 第1学年の式の計算における「項の概念」の確認し、第2学年の二つの文字を含む整式の加法や減法についての理解を深める。 文字を用いた式を使って、ある命題が成り立つことを説明する場面で、文字を用いて表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったり、計算したりする学習の充実させる。 問題解決の過程を大切に、目的に応じて適切で能率的に資料を集めたり、合理的に処理する学習を充実させる。 |
| 自校：58 全道：56 全国：57.2 | | | |

国語の勉強が好き(△5.5) 国語の授業の内容はよくわかる(△7.9)

数学の勉強が好き(△2.4) 数学の授業の内容はよくわかる(△7.4)

※ △：全国より高い ▲：全国より低い

○肯定的な回答の割合が90%を超える設問

- 毎日、同じくらいの時間に起きている。(△94.0%)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(△100%)
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。(▲91.6%)
- ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。(△98.8%)
- 国語の勉強は大切だと思う。(▲90.4%)
- 国語で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う。(△95.2%)
- 数学の勉強は大切だと思う。(△91.5%)

学ぶ意欲や態度が育成されている。

互いを尊重し、協働して社会生活を送ろうとする意識が高い。

●肯定的な回答の割合が60%を下回る設問

- 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。(▲55.4%)
- 今住んでいる地域の行事に参加している。(▲39.7%)
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。(▲26.5%)
- 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた。(▲33.8%)
- 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた。(▲43.4%)

休校期間中の学習習慣・生活リズムの乱れが見られ、家庭で過ごす時間における自己管理能力を育成する必要がある。

■メディア利用に関する設問

- 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。(▲59.1%)
- 1日に2時間以上使用する。(▲49.4%)
- 1日に1時間以上読書をする(△15.6%)

メディア利用に関するルールやマナーの定着、モラルの向上が課題である。

■「主体的・対話的な学び」に関する設問

- 自分で計画を立てて学習をしている(▲50.3%)
- 1日に2時間以上勉強する(△平日53.0%、△休日59.1%)
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる(△83.1%)
- 話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。(△84.3%)
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。(△84.3%)

学力向上に向けたロードマップ

| 月 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カリキュラム・マネジメント | ■教育課程の編成 ■実施/評価/改善 → ■年度末評価 → ■教育課程の編成 ■実施/評価/改善 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学力・学習状況調査等の活用 | ■調査/自校分析 ■分析結果/改善策の共有 ■調査/自校分析 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業改善 | ■主体的・対話的で深い学びの実践 ■各種研修会への参加 ■教科指導等研修 ■授業力向上プロジェクト/教育課程改善協議会(市教委) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学習サポート | ■放課後学習「ブリッジ」(1・2年15回/3年12回) ■定期テスト前学習「プラス」(全学年9回) ■冬季休業「全教科学習塾」宿題サポート | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学習習慣・生活習慣づくり | ■学習の進め方集会 ■スクールイブ(振り返り) ■スクールイブ ■スクールイブ ■学習の進め方集会 ■「明星夢ダイアリー」によるセルフマネジメント ■教育相談 ■教科相談 ■教育相談 ■教科相談 ■教育相談 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

学力向上に向けた今後の取組

全教育活動の改善へ

1 主体的・対話的で深い学びを視点からの授業改善

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程の意識
 - ・見通し～課題の設定と共有、課題や解決方法の見通し
 - ・探究～自分で課題の解決、集団で課題の解決
 - ・振り返り～学んだ内容のまとめ、自他の変容、次の課題意識
- 「学習課題」と「まとめ」の正対を意識した、身に付けさせたい資質・能力の育成
- 個人思考や集団思考を発表につなげるための「思考の言語化カード」の活用
- これまでの実践と組み合わせたICTの効果的な活用

2 望ましい学習・生活習慣づくり

- 見通しをもって主体的に取り組む学習習慣の定着、自己の生活を見直し、規則正しい生活習慣を確立させるための「明星夢ダイアリー」の活用
- 教科オリエンテーションによる家庭学習への取り組み方のガイダンス
- ICTを活用した個に応じた支援と学びの機会(eライブラリ等)の提供

3 自己の将来を見つめ、よりよい生き方を探究するキャリア教育の推進

- 主体的に判断してキャリアを形成する力を養う体験活動の充実